口 腔 ケ ア 指 導 表　（例）

氏　名	K. Y	男	85 歳
病　名	脳梗塞後遺症による右片麻痺		
ケアプラン策定日	平成　14 年　11 月		

課題（ニーズ）	短期目標	ケア項目	いつ	どこで	だれが	どのように
口腔清掃の意識が薄い	口腔清掃の重要性を本人だけでなく家族にも認識してもらう	口腔清掃の重要性を説明	初回の口腔ケア実施時（初回訪問歯科診療）	居宅 ベッドサイド	歯科医師 歯科衛生士	歯科医師、歯科衛生士より、口腔清掃の重要性を本人および家族に説明する． １回で効果が無ければ、訪問歯科診療時に繰り返し指導する．
ブクブクうがいができない	うがいで食物残渣を除去できるようにする	うがいの練習	毎食後	居宅 洗面所	歯科衛生士 家族	初めに歯科衛生士が、ぶくぶくうがいの手本を見せる． 本人に水を含ませ、出すように促す．できたらほめる． うがいが無理であれば、湿らせた綿球で口腔内を清拭する．
右片麻痺によりブラッシングがうまくできない	ブラッシングができるようにする	ブラッシングの見守りと介助	毎食後	居宅 洗面所	家族 訪問スタッフ	ヘッド部を改造した歯ブラシを用意する． 歯磨き中、介護者は見守りに徹し、介助はしない． ブラッシング終了後、介護者がチェックし、磨き残しを再度磨いてもらう．
口腔粘膜が乾燥し、脱水の可能性がある	口腔の乾燥を軽減させる	脱水の予防	随時	居宅 ベッドサイド	家族 訪問スタッフ	水分摂取量を確認し、不足していればケアマネジャーへ報告する． 水分補給を行う．
ときに誤嚥し、咳き込むことがある	誤嚥をなくし、嚥下性肺炎を予防する	食事中の見守り 口腔清掃	食事前、中、後	居宅 ベッドサイド	家族 訪問スタッフ 歯科医師	食事前に頬や口唇、舌を動かして、軽く口腔周辺の運動を行う． 口臭が強かったり舌苔が見られたら、食事前に口腔清掃を行う．歯科医師による嚥下機能のチェック．
食後、義歯をはずそうとしない	自力で義歯の着脱ができるようにする	義歯着脱の介助	毎食後	居宅 ベッドサイド	歯科衛生士 家族	歯磨きの前に、義歯をはずすように声かけする． 自力でできなければ介助して義歯をはずす． 歯磨きの後、自分で義歯を装着してもらう．
義歯を入れた時に痛みがあり、食事ができない	義歯による痛みを取り除く	訪問歯科診療	早急	居宅 ベッサイド	歯科医師	義歯の調整を行うと同時に、義歯の取り扱い方について指導する．
残根が多く、時々、周辺の歯肉に腫れや痛みがある	腫れや痛みを取り除く	ブラッシング時の観察 訪問歯科診療	毎食後 適時	居宅 ベッサイド	歯科医師 家族	歯肉部分、特に残根部の歯肉を確認し、腫れや痛みがあれば担当歯科医へ連絡する．